

TOKYO

TAKIKAWA

# 東京滝川会だより

第 **52** 号

平成22年8月発行

〈事務局〉

滝川市大町1丁目2番15号

滝川市経済部商工観光課

TEL 0125-23-2716 FAX 0125-23-5839

E-mail kougyou@city.takikawa.hokkaido.jp

URL <http://www.city.takikawa.hokkaido.jp>

## 第六十九代横綱白鵬関 滝川市観光大使就任特集



委嘱式後の記者会見で握手する横綱白鵬関（中央）と田村弘滝川市長（右）、出村明弘さん

第六十九代横綱白鵬関の滝川市観光大使就任を記念し、六月十三日、「横綱白鵬関滝川市観光大使就任記念スペシャル」を開催し、滝川市は味付きジンギスカン発祥の地として、委嘱式及び就任記念イベントが行われました。

地。羊を食文化の中心に置くモンゴルと共通点があり、また、市内の國學院大學北海道短期大学部がモンゴルの留学生を受け入れていたなど交流がありました。こうしたことから、滝川市地域振興アドバイザーで、東京滝川会会員でもある出村明弘さんが、親交のあった白鵬関に観光大使就任を打診。白鵬関も「母国モンゴルと日本の交流の橋渡しをしたい」と快諾されました。

滝川市観光大使の任期は三年。白鵬関には滝川の魅力を全国に発信していただくとともに、稲作技術普及によるモンゴル農業の支援、野球を通じた青少年健全育成など交流事業も開始します。

委嘱式を終えた白鵬関は、「私を生んでくれたモンゴルと、育ててくれた日本に恩返しをすることができた」とあいさつ。「滝川はいいところがいっぱいある。観光大使になってよかった。今日という日を忘れない。巡業で滝川のいいところを伝えていきたい」とも話していました。

また、江部乙町の水田に「白鵬米水田圃場」を設置し、白鵬関自らが田植えを行いました。秋には稲刈りのために再び滝川を訪れる予定です。



↑市民交流イベントで子どもたちともちつきをする白鵬関



↑委嘱式後の記者会見で、滝川市観光大使の名刺を手に質問に答える白鵬関



↑トークステージでは、大至さん（元前頭）を相手に、モンゴルや相撲への熱い思いを語りました

→滝川市観光大使就任を記念して、市内の菓子店8店が作ったお菓子を試食



→8店が9種類のお菓子を作りました。中には白鵬関の顔が入ったものも



←市民交流イベントで飛び入りの赤ちゃんを抱き上げる白鵬関



友好宣言に署名する田村市長、白鵬関、ウランバートル副市長

メンバーは田村弘滝川市長を団長に工藤正光J A たきかわ代表理事組合長など総勢八名。ウランバートル市と農業技術支援や青少年育成などで交流を推進する「友好宣言」に署名し、ウランバートル近郊の米栽培候補地などを視察しました。

横綱白鵬関の滝川市観光大使委嘱式に先立ち、六月五日から八日まで、モンゴルとの交流を調査する「モンゴル調査団」が、白鵬関の故郷モンゴル国ウランバートル市を訪れました。

## 友好宣言書に調印